

# おおぎだい

シ ー ズ シ  
春 夏 秋 冬

2014 春



入間市扇台福祉作業所 Eメールアドレス ougidai@ictv.ne.jp

〒358-0023 入間市扇台 2-7-26 Tel 04-2962-5308

Fax 04-2962-5458

## 久保稻荷祭りに参加して



お囃子・太鼓・お菓子まきなど境内  
では楽しい催し物が行われました。

3月16日(日)今年も久保稻荷神社で行われた「久保稻荷祭り」に出店参加させていただきました。

販売には利用者も多く参加し「いらっしゃいませ!」「クッキーいかがですか?」利用者の元気なかけ声に立ち寄って下さる方も多く店は大賑わいでした。出店には毎回、地区の民生委員さんも協力して下さり、地域の方々とも祭りを通して、とても良い関わりが持っています。

扇台福祉作業所も地域の一員としてすっかり定着し、顔なじみになった人達が気軽に声をかけて下さっています。また、利用者がお菓子まきに参加すると「あっちの方へ投げてやってくれ!」「手伝おうか?」など、さり気なく声をかけて下さり、地域の人達と一緒にお祭りを楽しむことができました。

小さな子供達から年配の方々までと幅広く、そして障害者も共に参加できる温かいコミュニティがそこにあると感じました。

## 就任のご挨拶



4月1日より扇台福祉作業所所長に着任しました佐々木恵巳子です。  
作業所の皆さんから歓待を頂き大変感謝しております。

作業所の基本理念をふまえ、基本方針に従い、利用者の皆さんが一日快適に過ごしながら作業が実施でき、自立にむけた支援を適切に行うことができるよう環境作りに努めていく所存でございます。

利用者の皆さん・保護者の方々・近隣の皆様にご理解ご協力を頂き、温かく明るい扇台福祉作業所の輪を拡げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

所長 佐々木恵巳子

お・・・面白  
お・・・可らしい  
ぎ・・・ギャグが  
だ・・・大好きな  
い・・・いつも笑顔いっぱいの  
作業所です。



写真中央が佐々木所長



## ありがとうございました

退職を迎えるに当たって、3月末までは「退職」という言葉に実感が持てなかったのですが、お別れした今、その言葉を実感しています。

入間市社会福祉協議会の職員として、扇台福祉作業所に所属し27年間、大過なくその任務を果たすことが出来たのは、利用者の皆さんをはじめ多くの方々の温かいご支援があったからこそと、深く感謝申し上げます。

お別れの日、利用者の皆さんの写真を前にメッセージを考えていたのですが、一人ひとりの方に、ただ“ありがとう”という感謝のことはしか出てきませんでした。

利用者の皆さんを支援することが職員の仕事と捉えていましたが、実は私の方が支えられていた。日々いろいろなことがあり、共に楽しみ、泣いたり笑ったり、時には怒ったりしながら、その時間を共有できることが幸せだったのだとしみじみ思います。

そして、何と多くの方々に支えて頂き、この仕事ができているかということでした。

扇台福祉作業所で働いていたからこそ出会えた、多くのボランティアさんや地域の方々、その素晴らしい生き方に感銘を受け、そのお姿に少しでも近づけるようになりたいと思いました。

利用者の皆さんと共に過ごした年月は、またたく間に過ぎ去って行ったように感じます。とても幸せでした。長い間お世話になり本当にありがとうございました。

前所長 山崎真知子



# 作業所なう！

## 利用者インタビュー⑤

私たちが生活していく中で、余暇時間はとても大切なものです。  
そこで今回は、作業所の利用者に余暇時間の過ごし方として休日の様子を聞いてみました。

### 休日には、どんなことをしているの・・・？

#### 家族や友人、ヘルパーさんと外出して楽しむ

- ・ウィンドーショッピングをして
- ・おいしいランチを食べる
- ・おばあちゃんの家に行く
- ・ドライブに行く
- ・近くのスーパーに買い物など
- ・プールに行く
- ・ボーリングをする
- ・水族館に行く
- ・所沢へ遊びに行く
- ・公園でサイクリング



#### 家でゆっくりと過ごす

- ・テレビやDVDを見る  
天才志村どうぶつ園  
ちびまる子ちゃん  
ドラえもんなど
- ・自分の好きな音楽を聞く  
光GENJI  
氷川きよし  
あまちゃんのテーマ曲など
- ・家のお手伝いをする  
雨戸を開ける  
洗濯物をたたむ  
部屋の掃除など



やはり1人で余暇を過ごす時は、テレビや音楽を聞くなど室内で過ごす利用者が多いようです。

しかし、家族やヘルパーさんとの外出はたとえ近くの公園や買い物へ行くことでも、とても楽しみにしている利用者が多く、作業所でもよく話題になります。

また家族の一員としてお手伝いをしているという声も多かったので、ぜひ続けて欲しいと思いました。



# 地域の方に聞いてみました！ ～パート5～

障害のある人もない人も共に暮らせる社会の実現のためには、地域の方々のご理解がとても大切です。扇台福祉作業所は地域の中で多くの方々を支えています。

今回は、豊岡第一地区民生委員・児童委員協議会会長の中敷領郁代さんをご紹介します。

中敷領さんは34年もの長い間、地域の民生委員さんとして活動されていますが、地域のボランティアコーディネーターとして活躍されていた時期もあります。

10年ほど前に作業所で空き缶つぶしの作業を行っていることを知って以来、アルミ缶を届けて下さっています。中敷領さんのご家族はお酒を飲まれないのですが、地域で集まりがあった時などに集めてその都度作業所に届けて下さっています。

昨年豊岡第一地区の会長さんになられ、公私ともにともお忙しそうですが、たまにお会いしたりすると、気持ちよく声をかけてくださり、温かく見守っていただいていると感じています。

## 豊岡第一地区民生委員・児童委員協議会会長 中敷領郁代さんに聞いてみました。

- **好きな言葉**  
誠実 信頼 絆 ありがとう
- **民生委員活動・ボランティア活動を始めた時期・きっかけ**  
昭和55年12月から民生委員として奉仕活動を始め、平成4年～6年までボランティアコーディネーターとして活動してきました。
- **ボランティア活動や民生委員さんのお仕事の中モットーとしてしていること**  
常に相手の身になって、「やってあげてる」ではなく「させていただく」ということを心がけています。
- **扇台福祉作業所のイメージ**  
利用者さんが純真で、障害に負けないで頑張っている。職員さんも明るく親切
- **利用者に対する思い**  
作業所にボランティアコーディネーターとして関わっていた頃から20年になります。お互いに歳を重ねましたが、利用者さんとともに元気に頑張ってゆきたいと思います。
- **地域の方へのメッセージ**  
昔のような「向こう三軒両隣」になってお互いに気かけながら生活すれば、安心して暮らせる地域になり、助け合える社会になると思います。まずはご近所づきあいから始めてはどうでしょうか。



### 編集後記

・春爛漫 大雪と寒さで大変な冬でしたが、今年も春がやってきました。寒い冬を耐え抜いた植物が一斉に花を咲かせるこの季節が私は大好きです。4月から新体制になりましたが、今後とも良い支援をしていきたいと思っています。26年度もどうぞよろしくお願いいたします。 半田

・街の景色がさくら色に染まり心躍る中、作業所の26年度がスタートしました。新生「おおぎだい（春夏秋冬）」も2年目を迎え、作業所の普段の様子や地域の方々との関わりなど分かりやすくお伝えできればと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。 若林

